

2007 年度

科目名 データベース利用法	対象学科・学年 文学部コミ2回生	担当者 中道 厚子
授業テーマ 氾濫する情報の中から、必要な情報を取り出し活用するため、様々なデータベースの利用方法を身につける。		
授業の概要と目標 自分自身の興味関心を掘り下げ、深めるために、身の回りにある様々なデータベースを活用できるようになる。 毎回、パソコンを活用し、知識・技術を積み上げるので、欠席しないこと。		
評価方法 授業への取り組みや課題の評価を中心に行う。		
テキスト 授業中に指示する	著者	出版社
参考書 授業中に指示する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. データベースとは①—基本— 身近なデータベース 2. データベースとは②—基本— データベースの仕組み1 3. データベースとは③—基本— データベースの仕組み2 4. 既存のデータベース利用① 5. 既存のデータベース利用② 各自のパソコンを活用し、必要な情報を収集するために 6. 既存のデータベース利用③ 既存のデータベースから、その情報を入手するための基本的な 7. 既存のデータベース利用④ 方法を身につける。 8. 既存のデータベース利用⑤ 9. グループでデータベースを作る① 収集したデータを、グループで協力して、一つの大きな 10. グループでデータベースを作る② 情報のかたまりに作り上げていく。その過程を通して、 11. グループでデータベースを作る③ データベースの構造を使いやすいデータベースのあり方 12. グループでデータベースを作る④ 等を考える。 13. グループでデータベースを作る⑤ 14. 発表・相互評価 15. 夏休みの課題について 16. 夏休みの課題発表 17. データベースとは④—発展— データベースの作成で得た知識の上に、データベースの仕組みや 18. データベースとは⑤—発展— それがどのように活用されているかを知る。 19. データベースとは⑥—発展— 20. データベースの活用法① 21. データベースの活用法② 無料のオンラインだけでなく有料のオンラインやオフラインのデ 22. データベースの活用法③ タベースを活用する。 23. データベースの活用法④ 24. データベースを活用したレポート作成① 各自が、これまでの授業で習得した手法を活用し、 25. データベースを活用したレポート作成② 3回生以降に取り組む分野に関連した情報を収集し、 26. データベースを活用したレポート作成③ 自分の将来の研究に役立つデータベースを設計する。 27. データベースを活用したレポート作成④ そのデータベースを活用し、レポートを作成する。 28. 発表・相互評価① 29. 発表・相互評価② 30. まとめ		